

# 日本人と外国人の 意識の



第5回

## 目的 モデルケースから学び生かす

**講師：池上重弘氏（静岡文化芸術大学 文化政策学部 国際文化学科 教授）**

磐田市は平成26年度、リーマンショック後の外国人集住団地における居住者について、実態及び生活・子どもの教育に関する意識を把握するため、日本人居住者・外国人居住者の全戸を対象にアンケート調査を行った。これは池上重弘氏が磐田市長からの直々の要請を受け、市・自治会・多文化交流センター・大学の4者の連携のもと、市としてどのような施策を打てばいいか探るための調査だった。

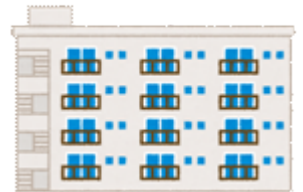
本年、ジャボラ NPO は、「日本人と外国人の意識のずれ」を探るべく勉強会を行ってきた。今回は、多文化共生社会研究の第一人者である講師を囲み、今後のあり方を学ぶ。

## 内容

1. 講演 「磐田市東新町実態調査から見えてくること」
2. ワークショップ 「浜松外国人集住団地（仮想）」について考える

この団地に必要なこと

調査及び支援を必要とした場合、それはどのような内容か



日時：12月19日（土） 13:30 ~ 15:30

場所：市民協働センター 第1研修室